

特集●中央診療所

患者さんの 良きパートナーで あり続けるために

オープンから36年目を迎えた「中央診療所」。
スタッフ・設備・取り組み等、
どのような体制を整えて地域の方々の健康を支えているのか、
新院長就任など最新情報を交えてご紹介します。

健診受診や通院に便利な 仙台駅前に立地

宮城県成人病予防協会には地域住民の方々の健康増進に寄与することを目的とし、仙台市宮地下鉄泉中央駅前の「仙台循環器病センター」と、仙台駅前の「中央診療所」の二つの医療拠点があります。

今回ご紹介する中央診療所は、仙台駅から徒歩数分のAERビル内にあります。通勤の合間やお出かけ時に合わせ

て受診しやすい便利な立地も、受診される方や患者さんから喜ばれているポイントです。診療所内の待合室に入れば、大きな窓が広がり、晴れた日には太平洋を眺めて受診までの時間をゆったり過ごすことができます。

医療専門職が約110名働く 診療所は小さな病院さながら

「診療所」と「病院」の違いをこ存じでしょうか。大きく異なっているのは、

「小さな病院のよう」と言われる程、診療所としては比較的大きな規模で運営しています。

スタッフ一人一人がより良い医療を提供できるよう、スキルアップを支援する体制も整えています。各種学会に参加しやすい環境づくりをはじめ、学会に参加した後は部署内で伝達講習を行い、情報や技能の共有化も図っています。

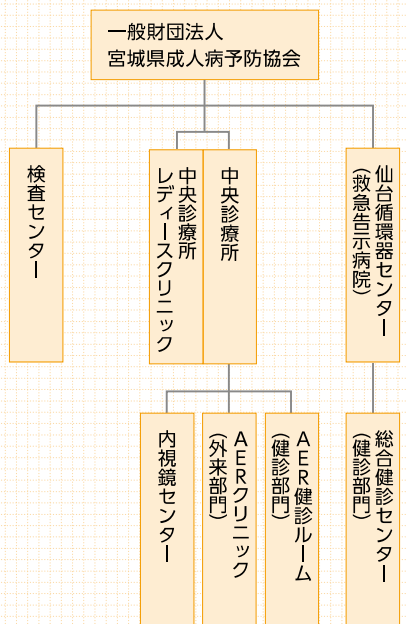
診療所の4部門に加え 同法人の検査センターを併設

中央診療所には、AER12階の「健診部門（AER健診ルーム）」「外来部門



仙台駅前のAERビル内にある「中央診療所」。通勤の合間や帰省、お出かけ時に合わせて利用しやすい立地です。

【施設健診と診療の体制】



を生かし、適切な治療へ円滑に移行できる体制が整っています。また、仙台循環器病センター内の施設健診部門である「総合健診センター」との間では、健康診断や人間ドックの受診予約を一元管理しており、過去の受診データも継承・共有されているため、受診施設を変更しても問診票や検査キットの差し替えは必要なく、健診結果は過去データとの比較も可能です。



検査センター内の様子

入院できる病床数の違いです。医療法では、20床未満が診療所、20床以上が病院とされています。診療所の中には病床を持たない「無床診療所」が多くあります。中央診療所も無床診療所にあたり、健康診断と外来診療を主としています。

診療所と聞くと医師や看護師が数名の規模をイメージされるかもしれませんが、中央診療所では約110名のスタッフが働いており、医師、看護師だけでなく、臨床検査技師、放射線技師、保健師、管理栄養士、薬剤師など様々な医療専門スタッフが活躍しています。



外来部門の「AERクリニック」の待合室。明るく開放感のある空間で、スタッフも穏やかに対応しています。

予防から治療まで一貫した 中央診療所 4 部門の特色

「健診部門（AER健診ルーム）
人間ドックの受診者数は
年間1万人

中央診療所で行う健診は、人間ドック、企業による職域健診、市町村が実施する住民健診（特定健康診査など）と多岐に渡っており、多くの方にご利用いただいています。近年の職域健診は会社単位での申し込みだけでなく、個人が希望する医療機関に予約して受診するケースも増えているため、時間を問わずに予約ができるWEB予約が好評です。

仙台駅前という便利な立地にあるので、宮城県内在住の方はもちろん近県の方、首都圏をはじめとした他県に単身赴任者中の方が帰省のタイミングで受診されるなど様々な地域の幅広い年代の方が利用されているのが当部門の特色です。

人間ドックの受診者数は年間1万人に上り、年々増加しています。その理

由として、「公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会」の認定施設であるほか「公益社団法人 全国労働衛生団体連合会」の労働衛生サービス機能評価認定による質の高い健診の提供などが挙げられると考えています。

特に人間ドックは、医師による結果説明、保健師・管理栄養士による生活指導を行うなどのフォローアップ体制も充実しています。また、X線や心電



肺がん検診は、比較的被ばく量が少ない低線量（30mA）の80列CTを使用。検査時間も平均10～15分で終了します。

図、内視鏡などの画像診断は専門医が1枚1枚丁寧に読み解き、より精度の高い検査結果を提供出来るよう努めています。

「外来部門（AERクリニック）
かかりつけ医として
病診連携も

「AERクリニック」には内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、心臓血管外科があり、一般診療や健診後の精密検査を行うことができます。

例えば、AER健診ルームでの健診で高血圧と診断された場合、隣接する同じフロア内のAERクリニックでの治療につなげることも可能です。

門病院への紹介なども行っています。

日常では身近なかかりつけ医として外来受診し、必要に応じて健診受診後の再検査や精密検査、治療も可能です。12時から13時の時間帯も一部診療を行っているのです、昼休みを利用した外来受診が可能です。AER10階には調剤薬局も入居されており、受診から薬の受け取りまで一つのビル内で完結できます。

呼吸器内科の紹介でも触れましたが、診療所と病院が連携し、シームレスな医療サービスを提供する「病診連携」にも力を入れています。専門的な検査や治療が必要となった場合は、仙台循環器病センターをはじめ、専門分野に特化した医療機関を紹介し、患者さんが適切な治療を円滑に受けることができるようサポートしています。

「内視鏡センター」
胃カメラも
リラックスして検査

AER健診ルームとAERクリニックがあるAER12階には、内視鏡センターもあります。最新鋭の機器を用いて、細部まで鮮明に映し出すハイビジョン画質での画像確認を行っており、精度の高い検査に努めています。



ベッド横のモニターに映し出される内視鏡画像から医師が診断。患者さんの希望により、リラックスした状態で検査が受けられる「意識下鎮静法」も選べます。



鎮静剤の効果が切れるまで、休息が取れるリカバリー室も完備。カーテンを閉めればプライベートな空間で休めます。

「レディースクリニック」
乳がん・子宮がん
特化して検診

AER10階にある「レディースクリニック」は、女性のための検査部門です。乳がん検診・子宮がん検診は平日及び不定期で土曜、乳腺外来は予約制となり月に1、2回土曜日に診療を行っています。

検診を受診している方に当レディースクリニックを選んだ理由を聞いてみると、「交通の便が良いから」「毎年利用していて過去のデータがあるから」など理由は様々ですが、中には10年以上健診を受けに来ている方もいます。



女性のための検査部門。知識や経験が豊富な看護師が導き、検査から相談まで対応しています。

検診のオプション検査として乳房／子宮超音波（エコー）検査やHPVウイルス検査などを用意しており、受診当日の追加も可能です。

乳がん検診の質の高さを認められた「マンモグラフィ検診施設・画像認定施設」（特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構）であることも安心につながっています。また、乳がんや子宮がんについて豊富な知識と経験を持つ専従の看護師が対応しているのも心強いところです。

検診を受けた後、さらに精密検査が必要な場合は、その専門分野の病院やそれぞれの方の住まいや職場に配慮した病院を紹介するなどの病診連携を行っています。



呼吸器NO検査を用いて喘息について詳しく調べる環境が揃っています。

呼吸器内科の外来は仙台駅付近では数少なく、喫煙習慣を背景にした生活習慣病「たばこ病（COPD）」や睡眠時無呼吸症候群を初期段階に発見し、専

新院長に聞く「これからの中央診療所」

「自分の健康は自分で守る」

きっかけづくりをここから

本年4月、中央診療所へ飯島秀弥新院長が就任しました。
地域医療における中央診療所の存在意義と、

これからの健康づくりの在り方について、飯島院長の思いを伺います。

忘れていませんか？

自分の健康に向き合うこと

これまで多くの高齢の入院患者さんを診療してきました。症状が重いために入院するのですが、長年の生活習慣病のために重症化していることが多いのです。

多くの患者さんは、治療を受けた病院は覚えていても、診断内容を知らない、なぜその薬を飲んでいるのか分からない。病名すら覚えていない。このようなことが頻繁にみられます。患者さんが自身の病気を理解しようとするため、医師とよく相談し、提示する治療選択肢の中から自身が希望するものを選ぶ

ぶ。こうした意識が、日本ではまだまだ少ないように思います。もちろん病気になるに越したことはありません。

健診で自身の健康状態を把握し、生活習慣の改善に努める。将来の疾患発症リスクが高いと考えられれば、服薬も考慮する必要があると思います。

中央診療所（AERクリニック）は、仕事の合間に予約をせず、さっと受診できる気軽さがあるからか、受診する方の年齢層が30代から60代と比較的若い世代が中心です。この中には、将来、重い心臓病や脳卒中、腎臓病、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などを発症する可能性のある人が少なからずいらっしゃいます。今のうちであれば未然に防ぐことが

できるかもしれない。前からやりたかった健康意識を高める働きかけが、ここならできるのではと思っています。

患者さんと医療者の パートナーシップづくり

国が生活習慣病予防の呼びかけや、予算を出して健診を勧めるのはなぜか。このままだと国民全体の健康状態が悪くなり、医療費もかかると、国全体が元気でなくなってしまう。

より良い医療を生むのは スタッフの有機的なつながり

医療機関の本体は建物や設備ではなく、構成する人達が有機的に結びついた集合体です。一人で出来ることには限りがありますが、みんなで取り組むことによって、医療という大きな責務を果たしていけます。そしてその繋がりを優れたものにする事が出来れば、医療の質が向上します。一つの大きな目標に向かって皆で力を合わせていく。そのためには、毎日お互いの顔を見て元氣良く挨拶し、他の人の意見は批判することなく、その意図を理解するように努める姿勢が必要です。気兼ねなく意見を出し合え、悩み事も相談できる環境を保っていかなければなりません。

地域医療においても連携はあつて当たり前。一つの医療機関で出来ることには限りがあります。其々の医療機関での得意分野を有効に活用することが良い医療に繋がります。診療所に受診された患者さんに異常が見つければ、早急に高次医療機関に紹介します。紹介するときに意識するのは、その病気の専門性に長けた病院であること、患者さんの住まいや職場に近いところ、入院した場合を考えて家族が来院しやすいところ等々であり、候補の中から思

者さんが希望された病院に紹介します。

コロナ禍を契機にオンラインでの情報共有が普及しましたが、やはり直接会って話すことが大事だと感じています。情報のやり取りだけではなく、場の雰囲気というか、気持ち伝わる部分が大きいですからね。

最後に

「自分の健康は自分で守る」マインドが広がっていくよう取り組んでいければと思っています。

中央診療所の診療・健診のご案内

■AER健診ルーム（AER12階）

※予約制 予約受付：月曜～金曜 8:00～16:30
人間ドック（1日）・各種健康診断
電話 022-375-7113

中央診療所（AER健診ルーム）と仙台循環器病センター（総合健診センター）の共通番号
WEB パソコンやスマホから予約の空き状況の確認・健診予約、日程変更を行います。

■AERクリニック（AER12階）

標榜診療科目 内科、呼吸器内科、循環器内科、
消化器内科、心臓血管外科
診療時間 9:00～17:30（受付8:30～17:30）
休診日 土曜・日曜・祝日・年末年始
電話 022-263-4053

■レディースクリニック（AER10階） ※予約制

乳腺外来診療時間
土曜日（月1～2回）11:00～12:00

住所 仙台市青葉区中央一丁目3-1 エール12階
アクセス 仙台市営地下鉄南北線「仙台駅」から徒歩4分
JR仙台駅西口ペデストリアンデッキから徒歩2分

※お車で越えの方へ 当診療所の専用駐車場はございません。公共交通機関、もしくは周辺の駐車場をご利用ください。



<https://www.mygsji.or.jp/kenshin/>

